

報道関係各位

## 9月23日 手話言語の国際デーに合わせ 自社制作番組を全編手話付きで放送

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井二丁目10-12、以下OHK）は9月23日、国連が定める手話言語の国際デーに合わせ、自社制作番組の生放送部分を全編手話付きで放送するとともに、ろう者と聴者がともに映画鑑賞するインクルーシブ上映会を実施し、バリア（障壁）のない社会実現に向けたメッセージを発信します。



手話言語の国際デー2024年度ロゴ



過去の情報番組の様子



©五十嵐大/幻冬舎 ©2024「ぼくが生きている、ふたつの世界」製作委員会

### ■実施内容

#### ① 自社制作番組 8 番組に手話を付与

手話言語の国際デー特別版としてレギュラー情報番組に手話を付けて放送するとともに、ローカルニュースを手話付きで放送します。さらに実施可能な自社制作番組についてもすべて手話対応し、1日を通して手話が言語であることを広く発信します。

「なんしょん？手話言語の国際デーSP」ではお笑い芸人による漫才を手話で伝えるなど、生活関連や娯楽などエンタテインメント分野の情報バリアフリーを追求します。

また、同日に開催するインクルーシブ上映会に登壇いただくろう者の俳優 忍足亜希子さんに番組コメンテーターとしてご出演いただきます。映画の紹介だけでなく様々な話題に手話でコメントいただき、聴者のアナウンサーとろう者のコメンテーターで進行するインクルーシブな番組を実現します。

《手話対応番組》

2024年9月23日(月・休)

- 3:45～3:50 さわやかOHK
- 11:25～11:30 ひろげよう！手話のわ
- 11:30～11:50 FNN Live News days（ローカル部分は11：45～）
- 14:45～14:50 ひろげよう！手話のわ
- 15:50～16:50 なんしょん？手話言語の国際デーSP
- 17:48～19:00 OHK Live News（ローカル部分は18：09～）
- 25:05～26:05 なんしょん？手話言語の国際デーSP（再）
- 27:20～27:25 おやすみOHK

#### ② キャンペーンCM

「手話は言語である」ことを啓蒙するキャンペーンCMを、9月13日～23日の11日間放送します。今年は企画趣旨に賛同した協賛スポンサー名を表示し、企業と協力してインクルーシブな社会実現を目指します。



### ③インクルーシブ上映会

9月20日公開の映画『ぼくが生きてる、ふたつの世界』（配給：ギャガ）の特別上映会を行います。この映画はきこえない母ときこえる息子が織りなす物語で、ろう者の登場人物はすべてろう者の俳優が起用された注目の映画です。

特別上映会ではろう者と聴者が一緒に映画鑑賞できるようバリアフリー日本語字幕版を上映し、会場内には手話通訳者を配して実施します。また、主演の吉沢亮さんの母親役でろう者の俳優、忍足亜希子さんの舞台挨拶や忍足さんを交えた意見交換会も行います。当日の様子はニュース番組などで後日紹介します。

日時：2024年9月23日(月・休)11:00～

場所：イオンシネマ岡山

チケット販売：オンラインは9/19(木)0:00より販売開始

劇場窓口は9/20(金)劇場オープン時より販売開始(※残席ある場合のみ)

※詳しくは劇場HPをご確認ください <https://www.aeoncinema.com/cinema/okayama/>



### ④自社サイネージでメッセージ発信

手話言語の国際デー啓蒙のため、世界ろう連盟が立ち上げた「手話言語にブルーライトを当てよう」というイベントに合わせ、全日本ろうあ連盟は現在“「世界そして日本を青色に！-手話言語をブルーライトで輝かせよう-」市民・地域・社会をひとつにチャレンジプロジェクト2024”の参加を呼びかけています。世界ろう連盟や国連のロゴの色で平和を表すシンボルカラーである青色で全国各地の名所や施設をライトアップするプロジェクトで、市民、地域、社会が一つになり、「手話が言語」であることへの認知を広めることを目指しています。

OHKはこの呼びかけに賛同し2022年からライトアップに参加していますが、今年は期間を延長し、国際ろう者週間である9/23～29の1週間、OHK本社のサイネージで「手話は言語である」ことのメッセージを発信します。



昨年の様子

OHKは30年以上「手話は言語」の理念のもと手話放送を継続してきました。当日の取り組みはOHKのニュースや公式SNSなどで発信する予定で、世界各国の手話言語を尊重しあい、世界中のきこえない・きこえにくい人ときこえる人がひとつになる瞬間を共にし、報道機関として広く周知するとともに『情報から誰一人取り残されない社会』の実現を目指した取り組みをより一層推進していく所存です。